



神栖市立

神之池緑地公園

～平成17・18・19・20年度～

- ・ワークショップ・基本設計 平成17年度
- ・実施設計 平成18・19年度
- ・施工監理 平成20・21年度
- ・竣工 平成22年3月
- ・面積:全76haのうち約7ha
- ・住所:茨城県神栖市溝口
- ・事業主:神栖市

神之池の再生

神栖市のシンボリック的存在であった神之池は、鹿嶋臨海工業地帯の開発により1969年に埋め立てられ面積が1/7、約289haから44haに縮小。その後は農業用貯水池+工業地帯の緩衝緑地として整備され、周囲は散歩、ジョギングのできる緑地として利用されてきました。本整備では市民に親しまれる神之池としての再生を目的に水質浄化や施設計画を行った。

基本設計：

既存の神之池緑地公園の一部5haに加えて新規に取得した国有地2haの敷地に、市民の声を取り入れた公園を計画した。市民参加はワークショップ4回、小学校へのアンケート調査1回を行い導入施設、配置計画案をとりまとめた。



ワークショップの様子



昔の神之池と現在の神之池について説明板を設置しました。

実施設計：

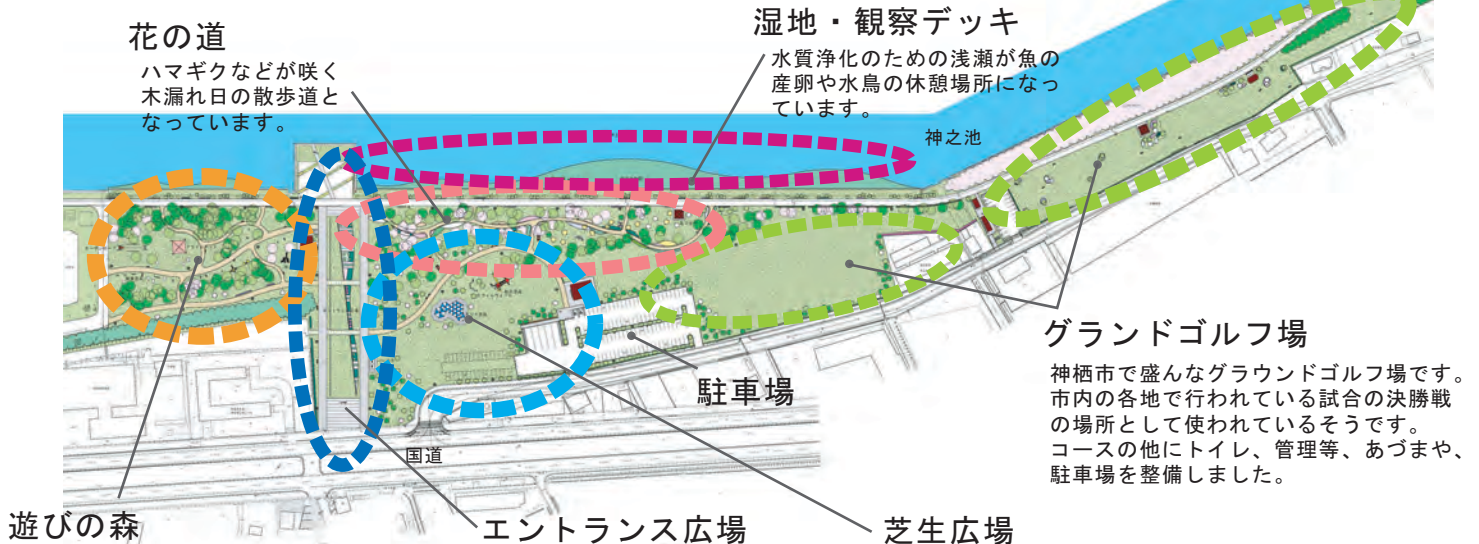
基本設計案を実現するための神之池の水質浄化施設棟、トイレ棟、グラウンドゴルフ場の管理棟及びトイレ棟、大噴水、カナル、せせらぎ、遊具広場、湿性植物園、駐車場、照明・放送設備、機械設備の設計を行った。

修正実施設計

予算の縮減に伴い子育て支援、水質浄化にテーマを絞り込み計画案の変更を行い実施設計を行った。

施工監理：

3期5工区に分割発注された工事の全域について施工監理を行った。



既存の緩衝緑地帯の樹木をバランスよく間伐し、遊具や休憩施設を設けて幼児向けの明るい遊び場としました。お花見や保育園の遊び場として利用されています。



国道から池への視線の通る広場を設け芝生の波、神之池再生事業を記念して昔の神之池の形のモニュメントを設置しました。



芝舗広場には海賊船ロッククライミング、波のネット遊具など大型遊具を設置し、国道からの利用者へ大きくアピールしています。